

反社会的勢力への対応に関する基本方針

(平成 22 年 9 月 30 日制定)
(平成 25 年 12 月 25 日改正)

門別町農業協同組合（以下「当組合」といいます。）は、事業を行うにつま
して、平成 19 年 6 月 19 日犯罪対策閣僚会議幹事会申合わせにおいて決定され
た「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（以下、「政府指針」
という。）等を遵守し、反社会的勢力に対して断固とした姿勢で臨むことをここ
に宣言します。

また、マネー・ロンダリング等組織犯罪等の防止に取り組み、顧客に組織犯
罪等による被害が発生した場合には、被害者救済など必要な対応を講じます。

（運営等）

当組合は、反社会的勢力等との取引排除および組織犯罪等の防止の重要性を
認識し、適用となる法令等や政府指針を遵守するため、当組合の特性に応じた
態勢を整備します。

また、適切な措置を適時に実施できるよう、役職員に指導・研修を実施し、
反社会的勢力等との取引排除および組織犯罪等の防止について周知徹底を図り
ます。

（反社会的勢力等との決別）

当組合は、反社会的勢力等に対して取引関係を含めて、排除の姿勢をもって
対応し、反社会的勢力による不当要求を拒絶します。

（組織的な対応）

当組合は、反社会的勢力に対しては、組織的な対応を行い、職員の安全確保
を最優先に行動します。

（外部専門機関との連携）

当組合は、警察、財団法人暴力追放推進センター、弁護士など、反社会的勢
力等を排除するための各種活動を行っている外部専門機関等と密接な連携をも
って、反社会的勢力等と対決します。

（取引時確認）

当組合は、犯罪による収益の移転防止に関する法律に基づく取引時確認につ
いて、適切な措置を適時に実施します。

（疑わしい取引の届出）

当組合は、疑わしい取引について、犯罪による収益の移転防止に関する法律
に基づき、速やかに適切な措置を行い、速やかに主務省に届出を行います。

以 上